

令和6年度

# 可児市の予算

～ 住みごこち一番・可児 に向けて ～



まちの伝言板

みんなの伝言板

目次

- P1 令和6年度 可児市の予算について
- P3 重点方針 子どもの笑顔と  
子育て世代の安心づくり
- P5 重点方針 高齢者の安気づくり
- P6 重点方針 地域・経済の元気づくり
- P7 重点方針 まちの安全づくり
- P8 一般会計 資料編

表紙の写真  
カニミライブ図書館(令和5年11月開館)

いつか駅で見かけ  
見えない相手を  
すこし不便だけ

# 将来を担う地域の宝 可児っ子を笑顔に

まちの将来を担う子どもたちは地域の宝です。子どもたちの笑顔につながる取り組みを行うため、新たに策定した市政経営計画において、「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」を重点方針に位置付け、様々な事業を進めていきます。

また、旧計画からは「高齢者の安気づくり」「地域・経済の元気づくり」「まちの安全づくり」の重点方針を継続させ、4つの重点方針のもと、『住みごこち一番・可児 ～すこやかに、にぎやかに、おだやかに暮らせるまち～』の実現を目指します。

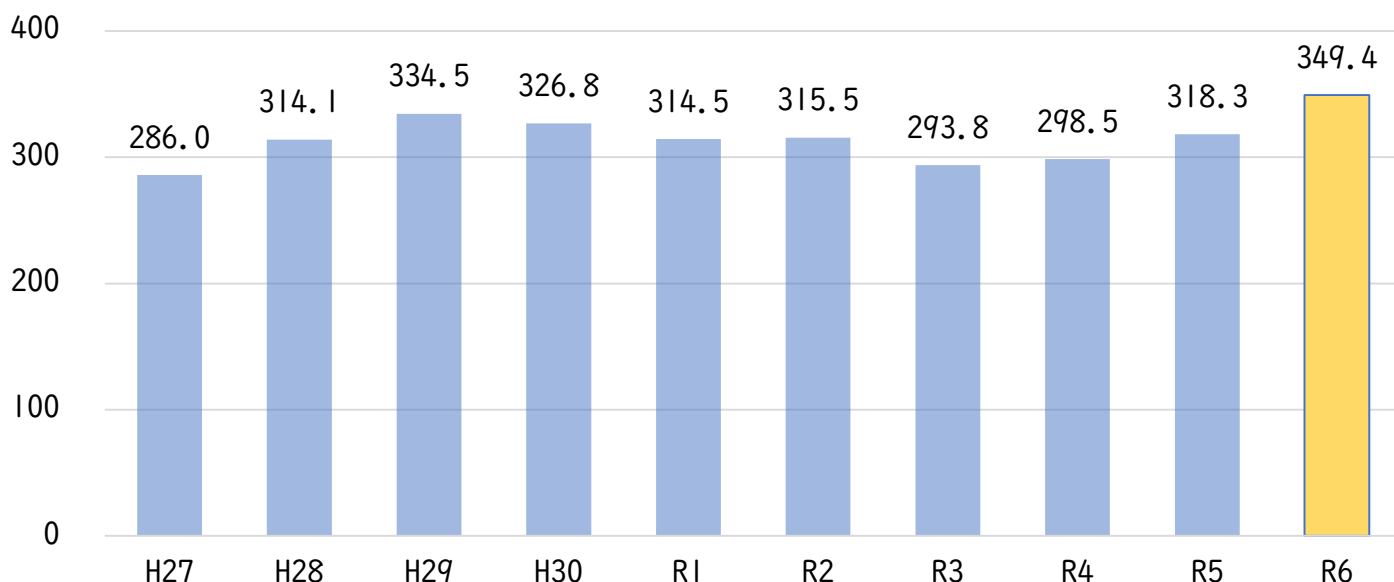
家計への負担が大きい物価高騰への対策を行うと同時に、特産品のブランド化や新工業団地への企業誘致などによる地域経済の活性化を目指すなど、現在と将来を見据えた事業を進め、若い世代が可児市に住み続けたい、他の地域の人に住んでみたいと感じるような魅力を創造していきます。

## 令和6年度 可児市の予算

会計	令和6年度	令和5年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
一般会計	349億4000万円	318億3000万円	31億1000万円	9.8
特別会計	202億5560万円	219億30万円	△16億4470万円	△7.5
企業会計	76億5300万円	80億5400万円	△4億100万円	△5.0
総計	628億4860万円	617億8430万円	10億6430万円	1.7

(億円)

### 一般会計 当初予算額の推移





## 特別会計・企業会計 予算額

会 計	令和6年度	令和5年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
国民健康保険事業特別会計	99億100万円	107億2000万円	△ 8億1900万円	△ 7.6
後期高齢者医療特別会計	18億6200万円	16億5400万円	2億800万円	12.6
介護保険特別会計	79億8970万円	79億7670万円	1300万円	0.2
保険事業勘定	79億8200万円	79億6900万円	1300万円	0.2
介護サービス事業勘定	770万円	770万円	0円	0.0
自家用工業用水道事業特別会計	1億6200万円	1億6200万円	0円	0.0
可児御嵩インターチェンジ工業団地 開発事業特別会計	3億1780万円	11億7300万円	△ 8億5520万円	△ 72.9
財産区特別会計	2310万円	5160万円	△ 2850万円	△ 55.2
土田財産区	330万円	330万円	0円	0.0
北姫財産区	600万円	580万円	20万円	3.4
平牧財産区	520万円	390万円	130万円	33.3
二野財産区	180万円	180万円	0円	0.0
大森財産区	680万円	3680万円	△ 3000万円	△ 81.5
農業集落排水事業特別会計	—	1億6300万円	△ 1億6300万円	皆減
水道事業会計	28億3500万円	32億4900万円	△ 4億1400万円	△ 12.7
下水道事業会計	48億1800万円	48億500万円	1300万円	0.3
合 計	279億860万円	299億5430万円	△ 20億4570万円	△ 6.8

※ 農業集落排水事業特別会計は令和5年度をもって廃止し、下水道事業会計に統合しました。

# 可児っ子の成長 ×

## 子どもの笑顔と



重点方針

## 子育て世代の安心づくり



赤ちゃんがお腹に  
いるときから



子どもとの暮らしが  
始まったら



### ■ 子育て家庭を応援

#### 出産・子育て応援事業 (6,782万円)

妊婦や子育て家庭に寄り添い、出産や育児の見通しを立てるための面談や適宜の情報発信を行い、必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、妊娠届出時や出産後に妊産婦に対しそれぞれに5万円分のぎふっこギフトを贈る「経済的支援」を実施しています。

#### 充実➔ 住宅新築リフォーム助成金

(子育て世帯に乗せ) (1,200万円)

市内事業者を利用して、住宅の新築またはリフォームを行う子育て世帯に対して、子ども1人につき5万円を通常の補助金に上乘せして助成します。

### ■ 赤ちゃんとお母さんが 安心して出会えるように

#### 母子健康教育・診査事業 (9,941万円)

健やかな妊娠と出産を迎えるための妊婦健診費の助成などを行います。

また、妊娠届出時に全ての妊婦に対し保健師や助産師が面接し、「マイ保健師」を紹介することで、必要な方に妊娠中の相談や訪問を行い、安心して赤ちゃんを迎えるためのサポートをします。

### ■ 育児で不安を抱え込まないように

#### 新規 1か月児健康診査助成金 (256万円)

出生から1か月を迎えた子の健診費用を助成します。早い段階から受診することで健康状態を把握でき、子の健康面に対する不安や困りごとの解消、軽減につなげます。

#### 新規 子育て世帯訪問支援事業 (140万円)

家事や子育てなどに対して不安や負担を抱えた子育て家庭や妊産婦などがある家庭を訪問し、家庭や養育環境を整える事業を行います。

PICK UP

### ■ 子育てに関する主な経済的支援

#### こども福祉医療費助成 (4億円)

中学生以下の全ての子どもの医療費を無償化します。令和7年度の助成対象拡大(高校生世代まで)に向け、準備を進めます。

#### 児童手当 (15億4,100万円)

中学生以下(※)の子どもに対して児童手当を支給します。  
※令和6年10月分から対象者・金額等の制度変更有。

#### 第二子以降出産祝金 (3,500万円)

第二子以降の子を出産された方に祝金として10万円を支給します。

#### 高等学校就学準備等支援金 (2,790万円)

進学や就職を控えた中学3年生の子ども保護者等に対して子ども1人あたり3万円の支援金を支給します。

#### 充実➔ インフルエンザ予防接種費助成

(2,390万円)

1歳から中学3年生と高校3年生相当の子どものインフルエンザ予防接種費用に対して1回あたり2,000円(上限)の助成を行います。

岐阜県民の

ぎふっこ  
ギフト



すべての商品



子育て支援ポータル



よくあるご質問



お問い合わせ

ぎふっこギフトwebサイト

”可”能性あふれる”見”のそだつまち可児で、  
「愛着」と「誇り」を持った可児っ子が育つように



～ マイナス10カ月から つなぐ まなぶ かかわる 子育て ～

保育園や幼稚園  
に入ったら



小学校・中学校  
に入ったあと



### ■ 働く保護者をしっかりサポート

#### 充実➔ 保育園・幼稚園関連経費（21億8,545万円）

保育園や幼稚園の運営・支援を行いながら、保護者の多様な保育ニーズに対応します。障がいや発達に問題を抱える子どもが安心して通園できるよう、加配保育士の配置費用の助成を拡充するなど、保育の支援体制を強化します。

令和6年4月には、3歳未満児の新たな受入先として「しあわせいっぱい保育園 今渡」（小規模保育事業所）が開園する予定です。

### ■ 友達といっぱい遊んで、 いっぱい勉強できる環境づくり

#### 充実➔ 小中学校施設大規模改造事業

（12億2,150万円）

照明のLED化やトイレの洋式化等の改修、老朽化した建物の長寿命化など、子どもたちが安全に安心して過ごせる学校施設の整備・充実を図ります。

建築から40年以上経過した桜ヶ丘小学校の長寿命化工事を令和7年度末完了に向けて実施し、引き続き安心して学校生活を送れるようにします。また、学校トイレの環境改善のため、全学校トイレの洋式化工事を令和8年度末完了に向けて進めます。

#### 充実➔ 学校生活支援事業（2億9,133万円）

スクールサポーターや通訳サポーターを配置し、小中学校の児童生徒の学校生活を支援するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを充実させ、困りごとの解消を図ります。また、医療的ケアを必要とする児童のため、看護師を新たに配置します。

PICK UP

### ■ 全ての子どもの居場所を

#### 新規 スマイリングルーム増設関連経費 （8,272万円）

不登校児童生徒の支援の場であるスマイリングルームを新たに老人福祉センター可児川苑内に開設します。子どもと学校や家庭をつなぐ各種サポーターを増員するとともに、インターネット上に教室を模したメタバース空間などを活用し個々のニーズに合わせた不登校支援を行います。

#### 新規 不登校児童生徒の保護者支援 （13万円）

令和5年9月に子育て支援課内に設置した不登校支援室では、学校とは異なる相談の場として不登校児童生徒の保護者が抱える悩みなどを受け止めます。また、保護者が講座や講演に参加して、お互いの悩みを話し合い、情報共有をするため、保護者交流会を開催します。

定住



生まれ育ったこのまちで  
住み続けたい



重点方針

# 高齢者の安気づくり



いつまでも住み慣れた地域で安気に暮らす



## ■ 高まる介護サービス需要に対応

### 介護サービス給付関連費（73億2,970万円）

高齢化とともに介護サービスを必要とする人が増えている中、介護サービスを安定的・継続的に提供していきます。

#### 新規 介護人材確保対策事業（243万円）

介護職員の確保、定着をはかるため、初任者研修への各種助成や外国籍の介護職員受け入れに対する助成などを行います。

## ■ 高齢者の足を確保

#### 新規 移動支援事業に対する車両貸与（250万円）

高齢者の移動支援を行う団体に対し、市が車両を無償貸与し、事業の継続につなげ、高齢者の移動手段を確保します。

## ■ いつまでもすこやかに、毎日をおだやかに

### 高齢者サロン支援・介護予防普及啓発事業（1,997万円）

地域で高齢者サロンを開催している団体に支援を行い、高齢者の交流の場やふれあいの機会をつくります。また、介護予防普及啓発事業として、地区センターなどで簡単な体操や脳トレなどを行う「まちかど運動教室」を開催します。高齢期を健康で自立した生活を続けられるようにするために、フレイルの予防につながる取り組みを進めます。

※フレイル：「健康」と「要介護」の中間の段階



まちかど運動教室

## 栄養

### 食事の改善

食事は活力の源です。バランスのとれた食事を3食しっかりととりましょう。また、お口の健康（口腔ケア）にも気を配りましょう。



## フレイル 予防

### 身体活動

#### ウォーキング・ストレッチなど

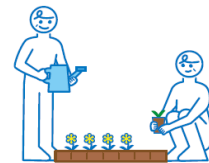
身体活動は筋肉の発達だけでなく食欲や心の健康にも影響します。今より10分多く体を動かしましょう。



### 社会参加

#### 趣味・ボランティア・就労など

趣味やボランティアなどで外出することはフレイル予防に有効です。自分に合った活動を見つけてみましょう。



出典：「食べて元気にフレイル予防」(厚生労働省)

フレイル予防のために



重点方針

# 地域・経済の元気づくり



いきいきと働き暮らせるまちを目指して



## ■ スポーツによる魅力づくり

### 運動公園整備事業（6億121万円）

市民スポーツの拠点である坂戸地内の可児市運動公園を多くの人が集う多世代交流の場として、さらに広域的な防災拠点として令和8年度の完成に向けて整備します。既存のカヤバスタジアムやテニスコート、弓道場などを含めて、運動公園に行けばいろんなスポーツができる総合的な体育施設を目指します。



可児市運動公園

## ■ 地域産業の担い手づくり

### 充実→ 子ども・企業マッチング支援事業（100万円）

職場見学やワークショップなどの開催により、親子で楽しみながら市内企業を知る機会を提供し、市内企業への若い世代の就業の促進につなげます。

## ■ 地域経済の活性化に向けて

### 工業団地開発事業（2億8,912万円）

可児御嵩インターチェンジ隣接地の工業団地開発において、第2工区の造成工事を継続します。第1工区に関しては令和6年度中の分譲に向けて企業誘致を進めます。

今後も企業誘致を積極的に進め、新たな雇用の場を創出し、地域経済を活性化することで、定住・移住を促進するとともに、将来的に安定した税収の確保を目指します。



職場見学&ワークショップバスツアー

## 重点方針



# まちの安全づくり



安全安心な暮らしを守るために



## ■ 災害に強いまちづくりを

### 充実→ 防災行政無線デジタル化工事（3億円）

防災行政無線の老朽化に伴い、デジタル化への更新工事を進め、災害時の情報伝達手段として安定的に利用します。

### 充実→ 避難所標識更新・設置工事（720万円）

外国籍の方をはじめとして、誰もが避難所とわかるように、避難所標識に外国語を掲載したり、絵や図で認識できるようなピクトグラムを掲載したものに更新します。

## ■ 市内の道路を安全・快適に

### 道路舗装工事（1億9,000万円）

団地内などの生活道路を安全に快適に通行できるよう、道路の舗装改良工事を計画的に進めていきます。

## ■ いつでも安定した水道水の供給のために

### 水道施設の耐震化・更新（3億4,605万円）

災害時でも安定した水が供給できるよう、送水管等の耐震化を図るとともに、将来の維持管理費等を考慮して配水施設の集約等により、効率的な配水を行います。

## ■ 誰もが暮らしやすいまちに

### 多文化共生事業（5,316万円）

多文化共生センターフレビアでは、外国籍市民への日本語学習支援などを行っています。外国籍市民会議では、外国籍市民が地域で生活する中での困りごとやニーズを直接聞き取り、共有し、多文化共生に必要な支援へつなげていきます。



避難所標識(旧)



避難所標識(新)



# 一般會計

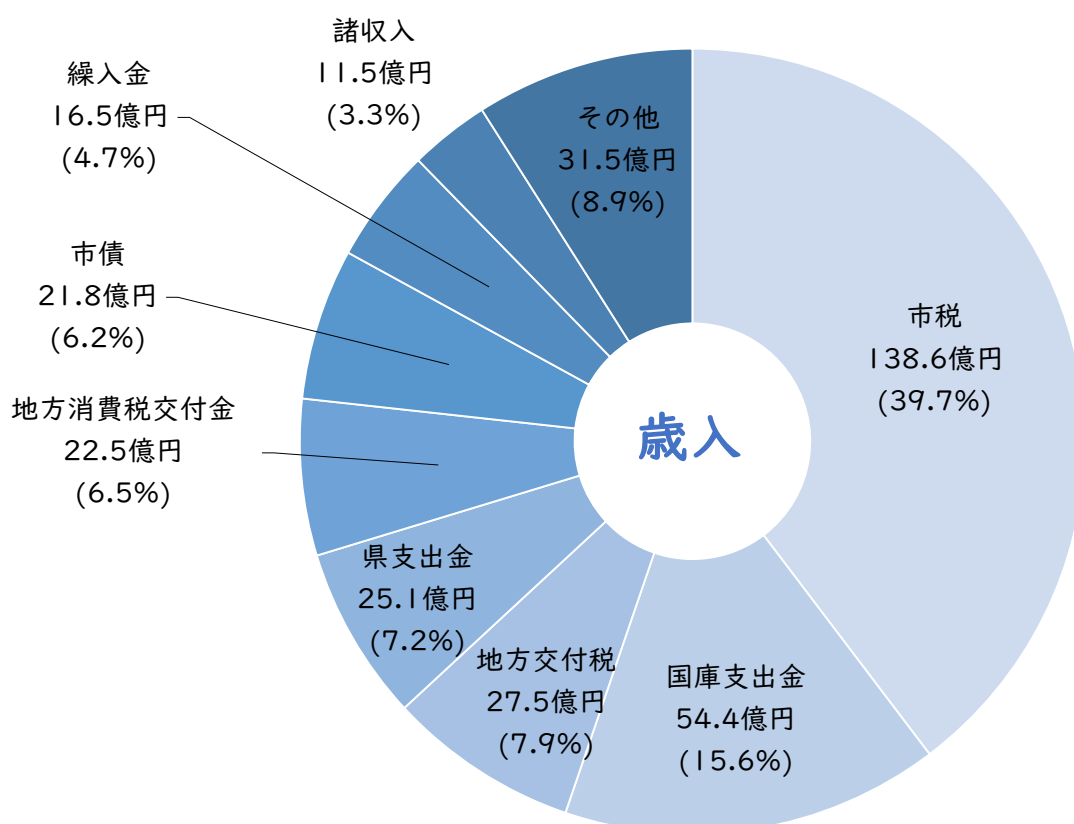
## 資料編

## 一般会計 歳入予算額

科目	区分	令和6年度	令和5年度	対前年度比較	
				増減額	増減率(%)
1	市 税	138億6300万円	147億2000万円	△ 8億5700万円	△ 5.8
2	地 方 譲 与 税	2億8430万円	2億7990万円	440万円	1.6
3	利 子 割 交 付 金	400万円	500万円	△ 100万円	△ 20.0
4	配 当 割 交 付 金	5000万円	5000万円	0円	0.0
5	株式等譲渡所得割交付金	4000万円	4000万円	0円	0.0
6	法 人 事 業 税 交 付 金	1億6000万円	1億6000万円	0円	0.0
7	地 方 消 費 税 交 付 金	22億5000万円	21億4000万円	1億1000万円	5.1
8	ゴルフ場利用税交付金	1億8000万円	1億8000万円	0円	0.0
9	環 境 性 能 割 交 付 金	4500万円	4500万円	0円	0.0
10	地 方 特 例 交 付 金	6億700万円	9000万円	5億1700万円	574.4
11	地 方 交 付 税	27億5000万円	22億円	5億5000万円	25.0
12	交通安全対策特別交付金	600万円	800万円	△ 200万円	△ 25.0
13	分 担 金 及 び 負 担 金	7200万円	9894万円	△ 2694万円	△ 27.2
14	使 用 料 及 び 手 数 料	3億8421万円	3億7365万円	1057万円	2.8
15	国 庫 支 出 金	54億3909万円	43億4113万円	10億9795万円	25.3
16	県 支 出 金	25億1076万円	23億6453万円	1億4623万円	6.2
17	財 産 収 入	1億1466万円	1億283万円	1183万円	11.5
18	寄 附 金	7億円	3億円	4億円	133.3
19	繰 入 金	16億4919万円	12億3737万円	4億1183万円	33.3
20	繰 越 金	5億円	5億円	0円	0.0
21	諸 収 入	11億5180万円	10億2866万円	1億2314万円	12.0
22	市 債	21億7900万円	15億6500万円	6億1400万円	39.2
合 計		349億4000万円	318億3000万円	31億1000万円	9.8

※万円未満を四捨五入しているため、合計・増減額が一致しない場合があります。

## どういう名目でいくらお金が入るのか見てみましょう！



### 主な収入

**市税** : 市内で暮らす人が納める個人市民税、市内に事業所を持つ企業等が納める法人市民税、市内に土地や家などを所有する人が納める固定資産税などです。

**国庫支出金**  
**県支出金** : 国や県が、市の事業へ支援してくれるお金です。

**地方交付税** : 日本全国どこで暮らしても同じような行政サービスを受けられるように、可児市民10万人の生活に必要な費用と可児市に入るお金を比べて、その不足分を国が補てんしてくれるものです。

**地方消費税交付金** : 物を買ったときなどに支払う消費税のうち、配分されるお金です。このお金は、幼稚園・保育園の無償化等の社会保障費にも一部充てられています。

### MEMO

市税収入が収入全体の39.7%と大部分を占めています。定額減税の実施や固定資産税の評価替えの年度にあたる影響などもあり、前年度に比べて減少を見込んでいます。

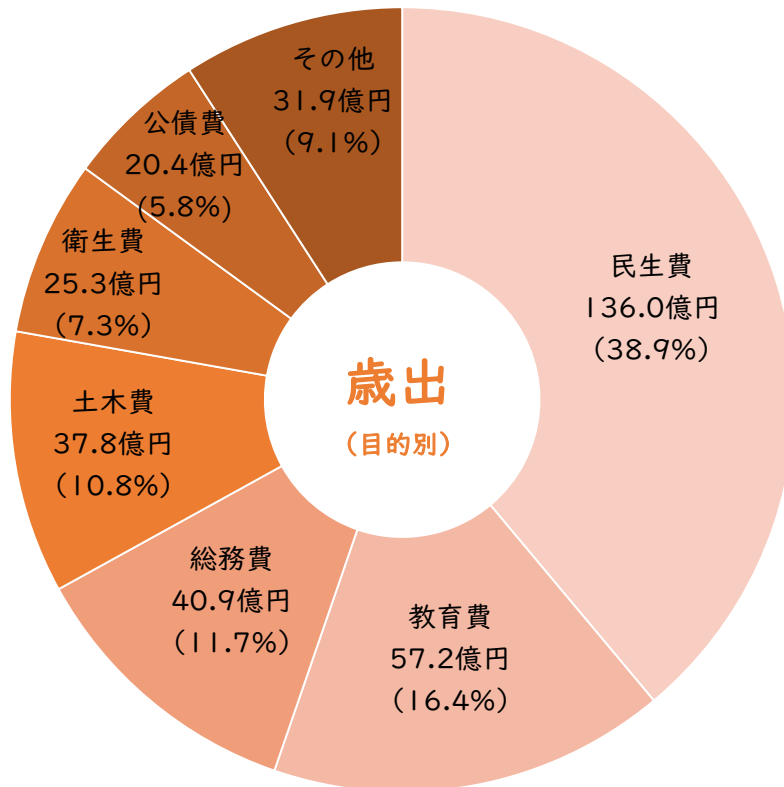


## 一般会計 歳出予算額（目的別）

目 的 別	令和6年度	令和5年度	対前年度比較	
			増減額	増減率(%)
1 議会費	2億5565万円	2億5984万円	△419万円	△1.6
2 総務費	40億8659万円	38億7958万円	2億700万円	5.3
3 民生費	135億9569万円	121億8412万円	14億1157万円	11.6
4 衛生費	25億3115万円	25億3514万円	△398万円	△0.2
5 労働費	1925万円	2040万円	△115万円	△5.6
6 農林水産業費	6億2039万円	5億1502万円	1億537万円	20.5
7 商工費	7億6359万円	8億6149万円	△9790万円	△11.4
8 土木費	37億7783万円	36億8740万円	9042万円	2.5
9 消防費	14億8034万円	12億71万円	2億7963万円	23.3
10 教育費	57億1974万円	44億5197万円	12億6777万円	28.5
11 公債費	20億3979万円	21億8433万円	△1億4454万円	△6.6
12 予備費	5000万円	5000万円	0円	0.0
合 計	349億4000万円	318億3000万円	31億1000万円	9.8

※万円未満を四捨五入しているため、合計・増減額が一致しない場合があります。

## 何のために使うのか【目的別】に見てみましょう！



### 語句の説明

- 民生費**：子どもから高齢者まで、住民の皆さんが安定した生活を送ることができるような福祉にかかる費用です。
- 教育費**：幼稚園や小中学校での教育にかかる費用や、文化創造センター・アーラや体育施設の維持管理や運営をはじめとした、文化やスポーツなどにかかる費用です。
- 総務費**：さまざまな行政サービスを提供できるよう市政運営全般にかかる、諸々の費用です。その中には財産管理や税の賦課・徴収、選挙や統計などにかかる費用が含まれます。
- 土木費**：道路の舗装や公園の維持管理などインフラの整備にかかる費用です。また、災害に備えて河川などを改修する費用も含まれます。

### MEMO

民生費は大切な福祉にかかる費用のため、予算額も一番大きくなっています。特に障がい福祉サービス給付費や子どもの医療費の助成、また高齢者の介護保険や医療保険の負担などの費用がその多くを占めています。教育費は、桜ヶ丘小学校の大規模改修や小学校トイレの洋式化を進めるため、予算額が大きく増加しています。

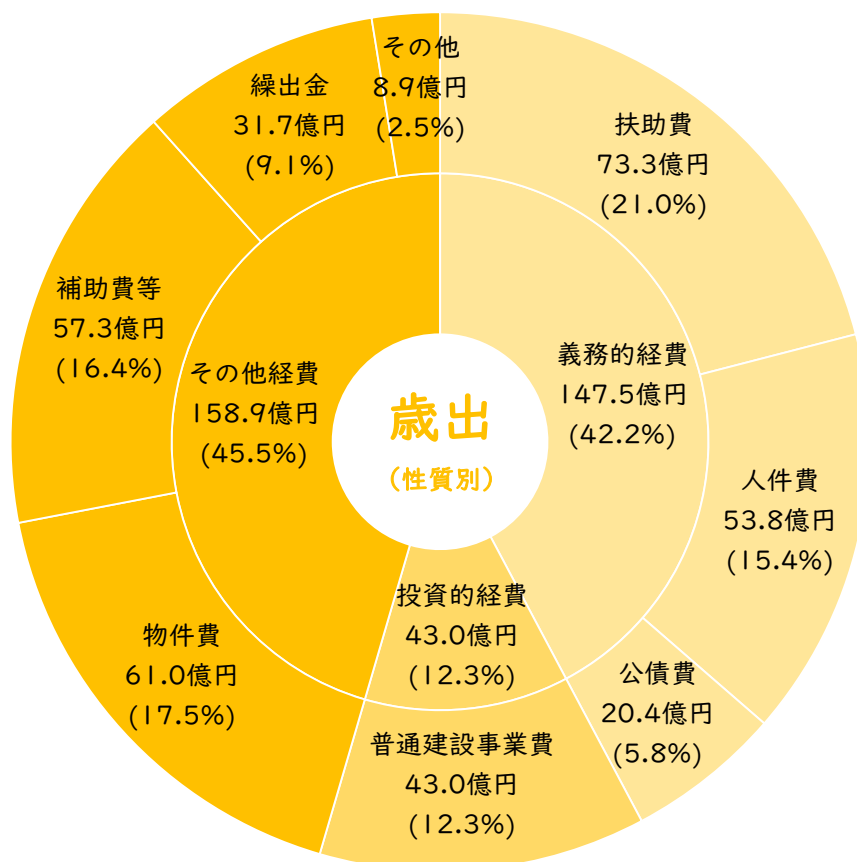
## 一般会計 歳出予算額（性質別）

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額	増 減 率 (%)
義務的経費	147億5223万円	144億5411万円	2億9812万円	2.1
人件費	53億8440万円	51億2510万円	2億5931万円	5.1
扶助費	73億2804万円	71億4469万円	1億8336万円	2.6
公債費	20億3979万円	21億8433万円	△ 1億4454万円	△ 6.6
投資的経費	42億9764万円	26億8414万円	16億1350万円	60.1
普通建設事業費	42億9764万円	26億8414万円	16億1350万円	60.1
その他経費	158億9013万円	146億9175万円	11億9838万円	8.2
物件費	60億9844万円	55億3060万円	5億6784万円	10.3
維持補修費	2億3206万円	2億1770万円	1436万円	6.6
補助費等	57億3303万円	48億9995万円	8億3307万円	17.0
積立金	7722万円	5587万円	2134万円	38.2
投資及び出資金	4億2623万円	4億4717万円	△ 2094万円	△ 4.7
貸付金	1億600万円	1億600万円	0円	0.0
繰出金	31億6716万円	33億8446万円	△ 2億1730万円	△ 6.4
予備費	5000万円	5000万円	0円	0.0
合 計	349億4000万円	318億3000万円	31億1000万円	9.8

※万円未満を四捨五入しているため、合計・増減額が一致しない場合があります。



## どういうことに使うか【性質別】 に見てみましょう！



### 語句の説明

**扶 助 費**：子どもから高齢者まで、さまざまな福祉にかかる費用です。病気などで生活に困っている人を支援する生活保護や保育園への保育費などがあります。

**普通建設事業費**：道路や公共施設などの整備にかかる費用です。

**補 助 費 等**：ごみ処理を担う可茂衛生施設利用組合や消防・救急を担う可茂消防事務組合の負担金、また個人や各種団体に交付する補助金などの費用です。

**物 件 費**：各種市民サービスに必要となる業務委託料や物品の購入費などの費用です。

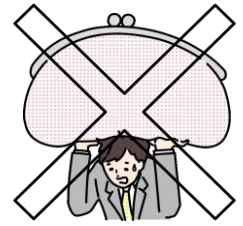
**義 務 的 経 費**：人件費や扶助費、公債費といった支出が義務付けられている費用です。減らすことが難しいとされる費用です。

**投 資 的 経 費**：普通建設事業費や災害復旧事業費といった施設整備や復旧工事などにかかる費用です。

### MEMO

普通建設事業費は前年度から16億円の増加となっています。これは、可児市運動公園の再整備や公共施設の照明LED化、桜ヶ丘小学校の大規模改修など、施設の長寿命化を含めた将来への積極的な投資を図るためです。補助費等は低所得者や定額減税の影響を受ける方への給付を新たに行うため前年度から増加しています。

# 可見市の借金と貯金

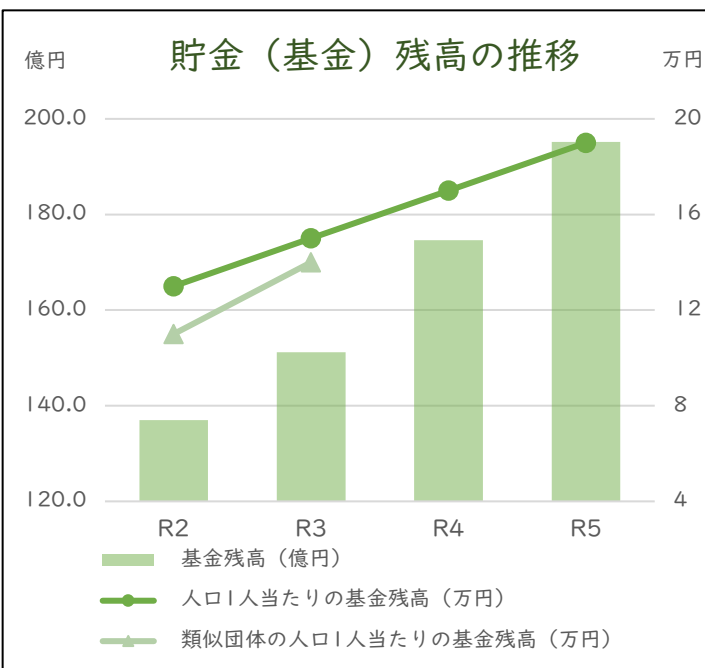
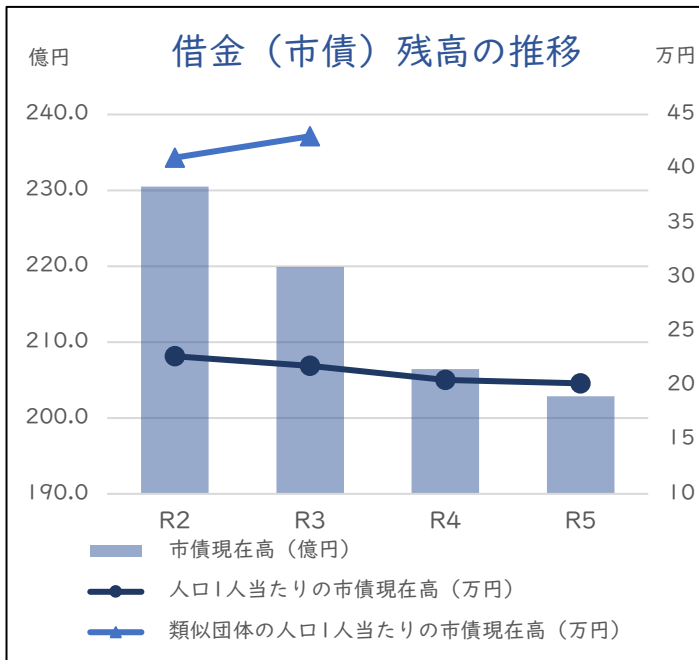


## 将来世代に負担が掛からないように

市債は可見市の借金にあたるものです。市債残高は、子育て健康プラザ・マーノの建設や文化創造センター・アールの大規模改修などもあり、令和2年度には約230.5億円となりましたが、これらの大型事業の終了などもあり、令和2年度をピークに減少方向に推移しています。類似団体（※）と比較すると、人口1人当たりの市債残高は半分程度となっています。

今後も将来世代への負担が大きくならないように運営していきます。

※ 類似団体：可見市と同じような人口規模や産業構造を有する自治体。（関市、愛知県犬山市など）



## 備えあれば憂いなし



基金は可見市の貯金にあたるものです。基金残高は、平成23年度末では72.3億円でしたが、令和5年度末には195.2億円となる見込みで増加傾向にあります。類似団体と比較しても、人口1人当たりの基金残高は同程度で推移しています。

今後も予期せぬ災害や老朽化する公共施設の更新費用など、市民の皆さんの生活に影響が出ないようにしっかりと備えていきます。

### MEMO

#### 借金（市債）について…

お金を借りることができる事業は、道路や施設の整備などに限られますが、これらは将来にわたって多くの人を使うものです。お金を借り分割で支払うことで、将来にわたり広い世代で負担していくという機能もあります。

詳しくは

可見市 財政



問合せ先： 可見市役所財政課 ☎62-1111